

日向国 延岡

七福神めぐり



日向国 延岡七福神縁起

明治の初め、未曾有の廃仏毀釈により、当地の寺院、仏像も廃仏廃寺、合寺の悲運に相い、以来各寺院に於いて参拝者の目にも触れず奥深く密かに祀られておりました。

昭和54年より先進地の例に倣い、参拝者の皆様の為に本尊を御開帳、又、新たに勧請し、延岡七福神霊場として開創する運びと相成りました。

七難即滅、七福即生の福の神に巡礼していただき、ご利益を受け、皆様お一人お一人心身の平和をご祈念ください。

全体MAP



寶圓山 天福寺



開山：大同二年（西暦807年）三月
本尊：阿弥陀三尊
鎮守：辨財天
真言：おんそらそばていえいそわか

当山辨財天は福智辨財天と称し、一般的な琵琶を持った御姿ではなく、八本の腕にそれぞれ武器を手に持つ一面八臂（いちめんはっぴ）の御姿をしておられます。

御利益：舌・財・福・智慧・延寿・災厄除・戦勝・技芸・音楽

大円山 龍仙寺



開山：元和二年（西暦1616年）
本尊：十一面観音菩薩
鎮守：大黒天
真言：おんまかきやらやそわか

当山大黒天は農業の福神として信仰され、その御姿は右手に鎌を持ち、背には大袋を奉持する「鎌持大黒天」という真に珍しい御姿をしておられます。

御利益：財福・五穀豊穰・出世開運・縁結び。

萬壽山 光明寺



開山：養和元年（西暦1181年）
本尊：阿弥陀三尊（寺伝・恵心僧都作）
鎮守：恵比須大神
真言：なむえびすたいじん

当山恵比須大神は縁あって当山に奉安されて以来、「芽出たい」「目出たい」と言われ、家庭円満の守護神として家内、交通、漁業の安全、商工業の繁栄を授与されております。

御利益：商売繁盛・開運・厄除け・病氣平癒・海上安全・旅行安全

浄菩提山 円照寺



開山：大同元年（西暦806年）十月
本尊：胎藏界大日如来種字
鎮守：布袋尊
真言：おんまいたれいやそわか

当山布袋尊は、明治初期の法難により廃寺となった蓬萊山浄菩提院に福神として法祀されていた御体で、一切の福を布袋に入れ、上方を指さし、大日如来の智慧と慈悲の靈光をお示しになられる御姿をしておられます。

御利益：開運・子宝・良縁・夫婦円満・商売繁盛・無病息災・財運・金運向上

醫王山 大武寺



開山：應永三年（西暦1396年）
本尊：阿弥陀如来
鎮守：寿老人
真言：おんばざらゆせいそわか

当山寿老人は当寺の秘仏と言伝えられ、右手には宝杖を持たれている。人々の開運長寿を祈られている御姿であり、宝杖は長寿を表し、福德円満を祈願されております。

御利益：息災延命・厄除・身体健全・家庭円満・福德円満

東光山 清高寺



開山：正和三年（西暦1315年）
本尊：薬師如来
鎮守：毘沙門天
真言：おんべいしらまんだやそわか

当山毘沙門天は宝暦十二年（1762年）紀州の高野山より当山に勧請されました。御手の上の宝塔は如意宝珠であり、無量不思議の功德を蓄えて、深く信心するものには限りなく財宝を与えると誓願されておられます。

御利益：金運・開運・商売繁盛・勝運（合格祈願）・健康長寿・厄除

那智山 如意輪寺



開山：養老元年（西暦717年）
本尊：観世音菩薩
鎮守：福祿寿
真言：おんまかしりそわか

当山福祿寿は、南極老人星の化身にして道士であり、背が低く、あごに美髯を蓄え、年齢は数千年に及ぶ。福・祿・寿の三神合一の尊ともいう。右手に持つ杖の頭には経巻を結び、白鶴・亀を従え延寿の徳をたたえ、また、経巻には人の寿命が記されていると言われております。

また、境内には宮崎県指定の名勝である「那智の滝」があり、高さ20メートル、幅6メートルの雄大な姿を四季折々の花と共に拝観することができます。

御利益：「福」＝家庭円満・和合 「祿」＝財運 「寿」＝健康・長寿・子孫繁栄

名勝：那智の滝

